

第二十二回帝國議會 關稅定率法改正法律案兩院協議會會議錄(筆記) 第一回

委員成立

明治三十九年三月二十七日議長ノ指名ヲ以テ本委員十名ヲ選定ス其ノ氏名左ノ如シ

大岡 育造君 元田 肇君 波多野傳二郎君
栗原 亮一君 島田 三郎君 征矢野 半彌君

神崎 東藏君 武市 庫太君 大津 淳一郎君
駒林 廣運君

同日午後一時四十分議長副議長互選ノ爲各委員參集ス其ノ氏名左ノ如シ
大岡 育造君 元田 肇君 波多野傳二郎君

栗原 亮一君 島田 三郎君 征矢野 半彌君
神崎 東藏君 武市 庫太君 大津 淳一郎君

駒林 廣運君
(年長者島田三郎君投票管理者トナル)

○大岡育造君 私ハ議長ニ栗原君副議長ニ波多野君ヲ推薦致シタウゴザイマス
○投票管理者島田三郎君 御異議モナイヤウデアリマスカラ其通決定致シマス

○議長栗原亮一君 貴族院ノ方ノ都合モアリマセウカラ暫ク休憩致シマス
午後一時五十分休憩

午後二時五十五分開議

會 議
出席貴族院協議會委員左ノ如シ
議長 伯爵正親町 實正君 副議長 男爵松平 正直君

辻 新次君 平山 成信君 男爵吉川 重吉君
男爵本多 政以君 西村 亮吉君 南郷 茂光君

藤田 四郎君 廣海 一二郎君
(抽籤ノ結果栗原亮一君議長席ニ著ク)

(以下速記)

○議長栗原亮一君 ソレデハ貴族院ヨリ修正回付ニナリマシタ所ノ關稅定率法ニ就キマシテ協議會ヲ開キマス、一應修正ノ理由ヲ貴族院諸君ヨリ伺ヒタイト思ヒマス

○男爵松平正直君 此貴族院ニ於テ修正シタノハ別ニサウ深ク辯ジマスマデモ無ク御覽ノ通りデ、此總テ衆議院ヲ修正サレマシタモノハ皆尤モト存ジマス、其中テ此第七條

ノ二十一ノ如キハ意思ハ必ズ此產業ノ發達ヲ圖ルコトヲ誠ニ御同意デアアルガ唯廣漠ト廣クナッテ居ル、別段意味合ハ無イ、此二十一ヲ設ケラレタ趣意ハ極ク御同意ヲシテ居

ルガ、唯此產業組合ト云フモノハ大キナモノハ宮城、巖手アタリニハ數郡ニ互ル所ノ產馬組合ト云フモノガアル、サウ云フモノデ種牛、馬ノ如キ無論ニニ入ラレルノハ尤モノコトデ二十一ヲ設ケラレタ趣意ニ適フ、サウ云フ所デ趣意ハ贊成スル、此組合ヲ加ヘタ

ノハサウ云フ意味ニ外ナラヌト思フ、然ラバ此市町村ハ何ゼ取ツタカト云フト市町村ノ如キ公共團體ハ却テ其種牛、馬ヲ持ツト云フ例ハ餘リ餘計見ナイノデ、且ツ却テ是ハ弊害ガ無イカ、寧ロシッカリシタ大キナ組合ノ方ガ大イニ是マデ維新前カラノ慣習モアル位ノモノデ、容易ニ一村一町アタリテヤツタヨリハ却テ目的ヲ達スル……蕃殖ト云フモノニハ如何デアラウカ、寧ロ是等ノ組合ハ却テ無イ方ガ宜カラウ、唯サウ云フ意味デ削ツタノデ別ニ深イ意味ハ無イノデ、ソレカラ仕舞……印刷料紙ト云フコトハ、此御修正ノ意思ハサウ御無理ト云フ譯デアリマセヌガ、協定稅率ヨリズット下ニ出ルト云フコトニナッテハ如何デアラウカ、ナゼ如何デアラウカト云フニ一面紙ヲ使フ方ノ上カラハ至極ソレハ幾ラデモ廉クナルニ越シタコトハ無イガ、一方カラ云フト工業ノ發展ヲ圖リ、國家ノ經濟上ニ於テ非常ニ各般ノ工業ヲ獎勵センナラヌト云フ所ニ對シテ、此紙ノ如キハ殆ド七百万以上日本デ出來ル、輸出モ又六百万カラアル、斯ウ云フモノデアアル、之ニ對シマシテハ多少此内デ紙ヲ製造スル工場ノ尙將來發展シテ行ケル方法ヲ取ツテ行カナケレバナラヌ場合デアリマスカラ安クナルト云フガ爲ニ其邊ハ挫折スルヤウニ、全國ノ國家ノ經濟ノ上カラ、今日ノ今ノ現狀、今ノ儘、假令此所ノ高ク上ゲテモ協定稅率ガアルカラ上ボルコトハ出來ナイ、ソコデ今ノヨリ騰リモセヌ低リモセヌ程度デ修正シタイト云フ趣意デアリマス、意味ハ其趣旨ニ外ナラヌデアリマス、其趣旨デ委員會ニ於キマシテハ修正ニナリマシタデアリマス、サウドウゾ御承知ヲ願ヒマス

○大岡育造君 私ハ茲ニ衆議院ガ政府案ニ修正ヲ致シマシタ趣意ヲ辯明イタシテ御參考ニ供シタイ、衆議院ニ於キマシテ政府案ノ從量稅ヲ從價稅ニ引直シマシタノハ斯ウ云フ譯デアリマス、今度ノ關稅定率改正ニ就キマシテ、工業ノ保護ヲ意味スルコトニ就キマシテハ固ヨリ之ヲ是認シテ居ルデアアル、其點ニ就テハ殆ド貴族院ノ御考ト違ヒハアリマセヌガ、何故ニ從量稅ヲ從價稅ニ致シタカト申シマスルト、元來御承知ノ通り、日英條約ニモ日獨條約ニモ從價一割トナッテ居ルデアリマス、ソレデ條約上ノ從價一割デアルモノガ換算セラレルト從價一割以上、現ニ新聞紙ノ如キハ一割四分九厘ホドノモノニナルノデゴザイマス、是ハ全體ドウ云フ譯デアラウカト研究イタシテ見マシタ所ガ、一時ハ紙ガ高カッタモノカ、政府ガ換算スル時分ニ高カッタモノガ、近來ハ紙ガ安クナッテ結果カト思ッテ見マシタガサウデ無クシテ安イ紙モ中カラ井ノ紙モ上等ノ紙モ政府デハ一ツニシテソレヲ譬ヘバ此三ノ直ノ變ツタモノ、八十錢ノ物ト、一圓二十錢ノ物ト一圓五十錢ノ物ト此三口ヲ合シテ、ソレヲ三ニ割リマシタルト、チヨット一圓十六錢何厘ト云フモノガ出デ來マス、此結果ハドウナルカ、其一番良イ紙ノ一圓五十一錢ノモノガ一圓十六錢ニナルカラ安クナル、新聞紙ノ如キ安イ紙ノモノハ一圓十六錢ニナリマスカラ高イ負擔ヲシタト云フコトガ分ツタノデゴザイマス、詰リ政府ガ稅ヲ取立テ爾便宜上從價一割ト云フモノヲ從量ニ換算スル際ニ、紙ノ等級ヲ見ズニ總テ合シタモノデアルト云フコトガ分リマシタノデゴザイマス、ソコデ今度ハ二等ヲ分ケテ、良イ方ノ紙ハ一割五分ニシテサウシテ普通新聞等三使フ所ノ紙ヲ稅ヲ條約ノ通りニ從價一割ニスル、斯ウ云フ意味デ改メタ次第デアリマスノデ、其從價一割ト云フコトニ就テハ初メヨリ政府モ異論ヲ言ハナイ、又私共モソ

レ以上希望ハシナイ、唯其從價一割ナルモノが品物ニ當嵌メテ相違ヲ生ズルト云フコト
ガ此相違ノ點デゴザイマス、斯ノ如ク致シマスル趣意ヲモウ一ツ申述ベテ見マスルト、御承
知ノ通りニ近來新聞紙モ漸ク發達シテ參リマシテ、寫真版等ヲ多ク採用シマスル所ガ、
日本製ノ紙デハ如何ニモ處末ニシテ事實困ルノデアリマス、之ヲ西洋紙ニ致シマスル
ト非常ニ良ク出來マス、之ガ爲ニ一般ノ新聞見ル人ノ衛生ノ上カラ考ヘテモ宜カラ
ウ、種々ナル便宜ガアラウカト思ヒマスガ、サデ此日本ノ紙ハサウ行カヌノカト言フト實ハ
サウ行カヌ答ハナイノデ、今少シ勉強ヲシテ吳レサヘスレバ出來マスノデアリマス、ソコマデ
實ハ行ツテ實ヒタイト思ヒマス、所ガ今松平男爵カラモ言ハレマシタ通りニ、紙ハ多額ノ
製造ガ出來テ多額ノ輸出ガアルノデアリマス、輸入デ無クシテ日本製ノ紙ハ輸出ガアリ
マス、其輸出ノ紙ハ支那ニ多ク出マス、其紙ニハ決シテ光澤ハ要ラナイ、ツレガ爲ニ多ク
ノ紙ヲ造テ西洋カラ來ルヤウナ良イ紙ニ精製セズシテ相變ラズ粗末ナ紙ヲ造リ、サウシ
テ關稅ノ保護ノ爲ニ段々ニ實ハツレダケ騰ツテ居ル、サウシテ今日新聞紙ガ平生使ヒマス
ル一連ト云フモノハ日本ノ紙ハ二圓五十五錢、舶來ノ紙ハ二圓八十錢、此二圓臺ノ
紙ニ於テ二十五錢ノ相違ガアリマス、外國紙ノ方ガ高イノデス、日本ノ工業ガ之ガ爲ニ
實ハ壓セラレルト云フコトハ決シテ無イ、唯此上ニ幾ラカ良クサセ、モウ少シ驕リ、モウ少
シ油斷ヲスレバ外國紙ノ方デ這入リ易イゾト云フコトヲ知ラセタイト云フホドノ私共ノ
願ヒデアルノデアリマス、衆議院ノ方ハ右ノ如ク修正ヲ致シマシタ、即チ從價ニシマシタノ
ハ安クシテ實ハウト云フノデハ無イ、唯其物ニ相當スル條約ノ趣意ヲ折角ニ新聞紙ニ當
嵌メテ實ヒタイ、ツレカラ又良イ紙ハ良イ紙デ出來マスカラ、是ガ相當デ宜カラウト、斯
ウ云フ意味デゴザイマスカラ、之ハ一ツ御參考ニ申上ゲテ置キマス

○議長栗原亮一君 御意見ガゴザイマスレバ……

○平山成信君 今大岡サンカラ御話デ御趣意ハ能ク分リマシタガ、是ハ協議會ノ席デ
スカラ極ク懇談的ニ申シマスガ、如何デゴザイマセウカ、實ハ關稅定率法ト云フモノハ隨
分大法律デ、貴族院デモ實ハ能ク調査シテ見タイト思ヒマシタケレドモ、サウ云フ時日
ガ無カッタノデアリマス、所ガ段々衆議院ノ方デ少カラヌ御修正ガアリマシタガ、ソレニハ
僅ニ一二點ノ事ニ就テ不幸ニシテ御意見ヲ異ニシマシタ、貴族院デ修正シマシタ趣意ハ
實ハ今松平君カラ御述ベニナツタ通り、詰リ御同様ニ關稅ノコトハ心配シテ居ルノデアリ
マスガ、協定稅率ヨリ實際多ク取ラウトハ思ハナイト云フ趣意デケノコトデゴザイマス
ガ、今申スヤウナ譯デ一二點ノコトデゴザイマスカラ、ドウデセウ諸君、御再考下サル譯
ニハ行キマスマイカ

○元田肇君 唯今ノ御言葉デ私ハ意見ト云フヨリハ伺ツテモ宜ケレバ或ハ御參考ニナ
ルカモ知レヌト思ヒマス、貴族院ノ修正ハ協定稅率ヨリ以上二三厘増スコトニナリマス
カ、七厘デスカ

○平山成信君 端數デゴザイマス

○元田肇君 端數デゴザイマスガ端數ヨリハモット少ク此端數ノ十分ノ一ニモ當ラヌモ
ノガ新聞ナドノ利益ニナル關係ニナラウト思ヒマス

○島田三郎君 私モ一言申シテ置キタウゴザイマス、協議ノ席デゴザイマスカラ打明ケ
テ御相談ヲ受ケマセウガ、唯今平山君ノ仰ッシヤッタ通りニ纏メルコトニシタイト思フ、私ノ

趣意ノアル所デケラ一言申シテ置キタイ、詰リ協定稅率ヨリ下ケルトカ下ゲストカ云フコト
ハ、原案ヲ起草シマシタ政府ノ方デハ、切リニツレバ矢張り衆議院ノ委員會デ主張サレマ
シタガ、其協定稅率ノ根據ノ頗ル薄弱デアルコトハ、今大岡君モ御話ノ通り一割ト云フ
コトハ算用ノ入レ方ニ依ツテサウ云フ違ガ出テ來ルノデ、事實ノ利害カラ御立論ヲ私ハ希
望シマス、唯今ノ有様デモ矢張り内地ノ紙ト外國ノ紙トハ一「リム」ニ付テ二十五錢ホ
ド違ヒマスカラ、十分内地ノ紙ニハ差ヲ以テ成立ラ妨ゲナイデケニハナツテ居ル、其上ニ全
體内地ノ紙ノモット發達スベキモノガ發達シナイト云フノハ、餘リ下ケ過ギル方ガ却テ妨
ゲガアラウト思フ、此形勢ヲイツ惹起スカト云フト大ナル戰サノアツタ後ニアリマス、戰ノ爲
ニ安イ紙ヲ多ク使ヒマス、新聞紙ノ號外ヲ出ストカ總テノモノヲ早く報知ヲシタイト云フ
ノデ、イツモヨリ大ニ増シマス、即チ内地ノ紙ノ製造ガ儲カルニ付イテ銳意シナイデ餘リ擴
ゲナイデ嵩ヲ刷ツテ足リナイカラ、其餘分ヲ補フ爲ニ外國ノ紙ガ這入ルノガ事實デ、差
ヲ大キクシテ置クガ爲ニ餘リ銳意シテ紙ノ滑ッコイモノヲ造テ、外國ノ紙ト競ハウト云
フ精神モ振ハナイ、尙ホ工場ヲ大キクシテモウ一ツ奮發シテヤッテ見ヤウト云フ精神モ振
ハナイ、ソレ故ニ衆議院ノ修正モ差ヲ無クスノデナクシテ、サウ云フヤウニ差ヲ少クスルト
云フ意味、且一割ト云フコトハ算用ノ入レ方ニ依ツテ今大岡君ノ言フ通りニナルノデ、餘
リ無理ナル修正ヲ加ヘタノデハ無イ、政府ノ正式ニ主張シマスル協定稅率ヨリモ下ゲタノ
デハ無イ、之ヲ十分御了解下スツタナラバ、餘リ折合ノムツカシイコトハ無カラウト斯ウ信
ジマス

○伯爵正親町實正君 チョット島田サンニ伺ヒマスガ、サウシマス御話ノ趣意ハ詰リ
今日日本ノ紙ハ餘リ安過ギル、工場モ多クアルガ爲ニ安過ギル、需用モ多クアルガ爲ニ外國
ト日本トノ紙ノ市價ハ差ガアルノデアルカラ、是クラ關稅ヲ下ゲタ所デ格別日本ノ紙ニ
影響ハ無イ、斯ウ云フヤウナ御趣意ト思ヒマス

○島田三郎君 サウ信ジテ居リマス、差ガ餘リ大キイト云フトツレダケ引上ゲヌカラ……

○伯爵正親町實正君 ソレデ日本ノ紙ヲ引上ゲル餘地ガアルト仰ッシャルノデスカ

○議長栗原亮一君 チョット速記ヲ止メテ御懇談ニナリマシタ方ガ……

(速記中止)

○議長栗原亮一君 ソレデハ速記ヲヤッテ下サイ

○大津淳一郎君 コ、デ兩方ノ御熟議ヲ遂ゲル爲ニ三名ヅノノ委員ヲ此中カラ選ビマ
シテ、此諸君ニ御委託シテ能ク熟議ヲ致シタ方ガ宜イト思ヒマス、此三人ハドウカ議長
カラ宜シク御定メ下サルヤウニ……

○議長栗原亮一君 唯今ノ大津君ノ御發議通りデ御異議ハゴザイマセヌカ
(異議ナシト呼フ者アリ)

○議長栗原亮一君 ソレデハ其通りニ致シマス、ツレデハ貴族院側ノ方ハ松平男
爵、平山成信君、藤田四郎君、衆議院ノ方ハ大岡育造君、征矢野半彌君、波多野
傳三郎君……ソレドウカ一ツ御懇談ヲ十分ニ……ソレデハ小委員ノ御話ガ極リマス
マデ休憩イタシマス

午後三時三十五分休憩

午後四時五分開會

○議長栗原亮一君 ソレデハ更ニ會ヲ開キマスデス

○男爵松平正直君 今小委員ノ協議ヲ盡シマシタ結果ヲ御報告イタシマス、御相談ヲ致シマシタ結果、此第七條ノ二十一項ノ貴族院ヲ修正ヲ致シマシタノヲ又修正イタシマシタ、ソレハ意味ハ少シモ變ラナイノデアリマスガ、皆讀ミマセウ、「國、府縣ノ輸入スル種馬、種牛及種豚、産馬組合ノ輸入スル種馬又ハ産牛組合ノ輸入スル種牛」斯ウ云フコトニ修正スルコトニ一致シマシタ

○議長栗原亮一君 此修正ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長栗原亮一君 ソレデハ其通り決シマス

○男爵松平正直君 ソレカラ此印刷紙料ノ方ハ第一ノ「毎百斤一、一七」トアリマスノヲ「毎百斤一、〇〇」ト斯ウ云フコトニスル、ソレカラ「二」ヲ「同 一、九五」ト斯ウ云フコトニ修正スルコトニ止メマシタ、此段ヲ御報告申シマス

○議長栗原亮一君 唯今修正ノ通り御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長栗原亮一君 ソレデハ唯今ノ修正ノ通り決定イタシマシタ、御苦勞サマデシタ

午後四時七分散會

明治三十九年四月七日印刷

明治三十九年四月九日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局